

TOTAL MUSIC CONTACT PARTY



Photo by KUROKI

実施者:特定非営利活動法人jogo

社会や地域の課題

障害者の芸術文化活動においては、美術・絵画などのアート部門は活動場所・支援体制も充実してきており、アート分野における障害者の活躍も注目されているが、音楽部門における活動場所・支援体制はまだまだ確立されているとは言い難く、音楽に取り組む障害者や福祉事業所をサポートしていく体制を作っていくことが、よりインクルーシブな社会を形成していくうえで重要なミッションであると考えます。

取組概要及び成果

小学生から高齢者までに来場いただき、数多くの方々に障がいを持つミュージシャンの演奏・パフォーマンスを体験していただけた。イベント開催にあたり、事前にプレスリリースを配信することで32のwebメディアに取り上げられ、来場いただけなかった方にも当事業と障がい者の音楽活動について広く周知することが出来た。障がいを持つアーティストの中には車椅子のメンバーもいたが、今回あえて会場を地下にあるライブハウス、ステージには段差があるというバリアフルな環境を選んだ。結果として、出演者間で自然とステージに上がる車椅子を持ち上げる、観客が車椅子の階段昇降をサポートするなど、会場全体に「バリアフリーは自分たちで作るもの」という空気が生まれ、観客・出演者それぞれに「障がいへの配慮は堅苦しいものではない、ほんの少しの意識でバリアは無くせる」ということを肌で感じてもらえたことが当事業の大きな成果である。

高校生に「障がい者と同じイベントを作り上げる」という場を提供し、若い世代に障がい・福祉に触れ合うきっかけを作ることが出来たので、今後も学生を交えた音楽イベントの開催を継続していきたい。

そして当事業は音楽イベントとして開催されたが、障がいの有無を問わず、出演してくれたミュージシャンは皆とても素晴らしいパフォーマンスを披露してくれて、音楽イベントとしても非常にクオリティの高いものであった。